

# 戦略的省エネルギー技術革新プログラム



## NEDO 助成事業のご紹介

S-A

### 目的

省エネルギー技術の開発を戦略的に推進することで、日本における省エネルギー型経済社会の構築および日本の産業競争力の強化に寄与します。

### 応募要件

国内において、2030年度時点で、10万kL／年以上(原油換算値)が見込める技術が対象です。日本国内に研究開発拠点を有している企業、大学等の法人が提案可能です。

### アウトカム目標

日本におけるエネルギー消費量を2030年度に原油換算で1,000万kL削減することを目指します。

### 平成30年度予算

72億円

### 実施期間

2012～2021年度

### 事前相談受付中！

NEDOのメール配信サービスにご登録いただくと、最新の情報が配信されます。ご希望の方は右のQRコードよりご登録ください。



### 開発フェーズ一覧

	基本スキーム			テーマ設定型 事業者連携スキーム
	インキュベーション 研究開発	実用化開発	実証開発	
概要	技術シーズを活用し、 <b>開発・導入シナリオの策定等</b> を行う。実用化開発・実証開発の事前研究。	保有している技術・ノウハウ等をベースとした応用技術開発。 <b>本開発終了後3年以内に製品化</b> を目指す。	実証データを取得する等、事業化を阻害している要因を克服し、 <b>本開発終了後、速やかに製品化</b> を目指す。	複数の事業者が連携し、 <b>業界共通課題等の解決につながる基盤技術開発</b> 。本開発終了後3年以内に製品化を目指す。 なお、 <b>対象テーマはあらかじめ設定し公募</b> する。
技術開発費	2千万円/件・年 助成率:2/3	3億円/件・年 助成率:2/3又は1/2	10億円/件・年 助成率:1/2又は1/3	5億円/件・年 助成率:2/3
事業期間	2年以内	3年以内	3年以内	5年以内
備考	実用化・実証との <b>組み合わせ必須</b>	費用対効果の考え方を適用 大企業個社案件※のみ、 <b>低い方の助成率</b> を適用 ※大企業個社:提案者が大企業1社であり、連名提案者、委託先又は共同研究先がない状態		下記2点を満たすこと ・助成先に <b>2社以上の企業</b> 参画 ・ <b>成果の普及を促す組織・団体等</b> の参画

### 重要技術

